



広報

かなぎ

1999

10

No.402

やったね! お米がいっぱい実ったよ!

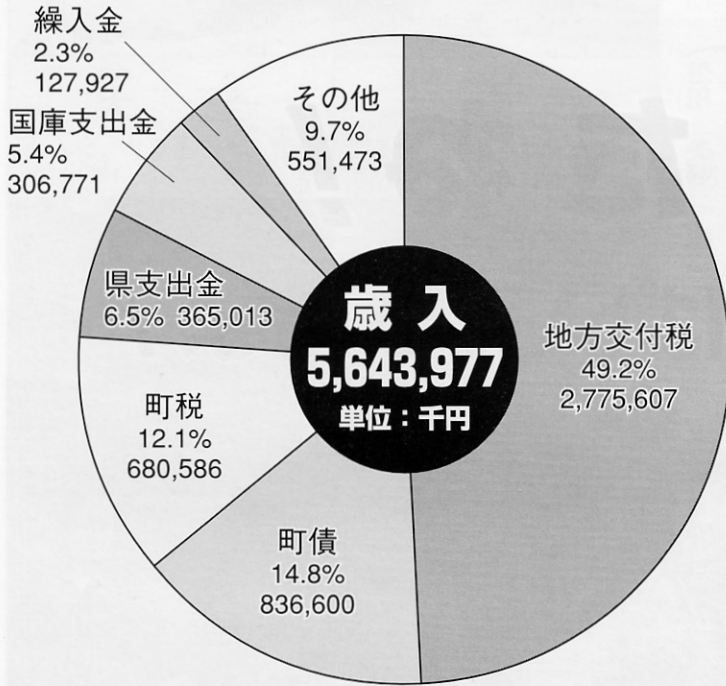


10月8日
嘉瀬小学校
稲刈り体験

平成10年度

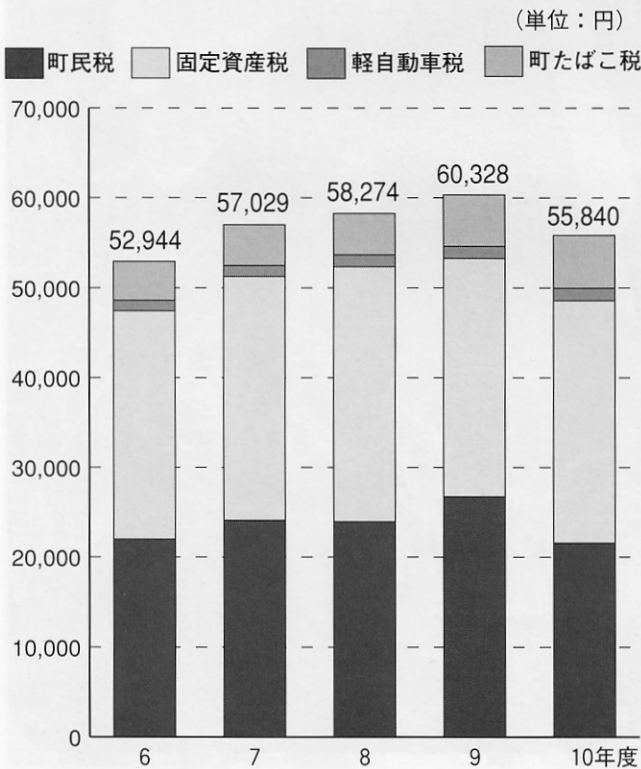
決算

55億2,517万円の使いみち

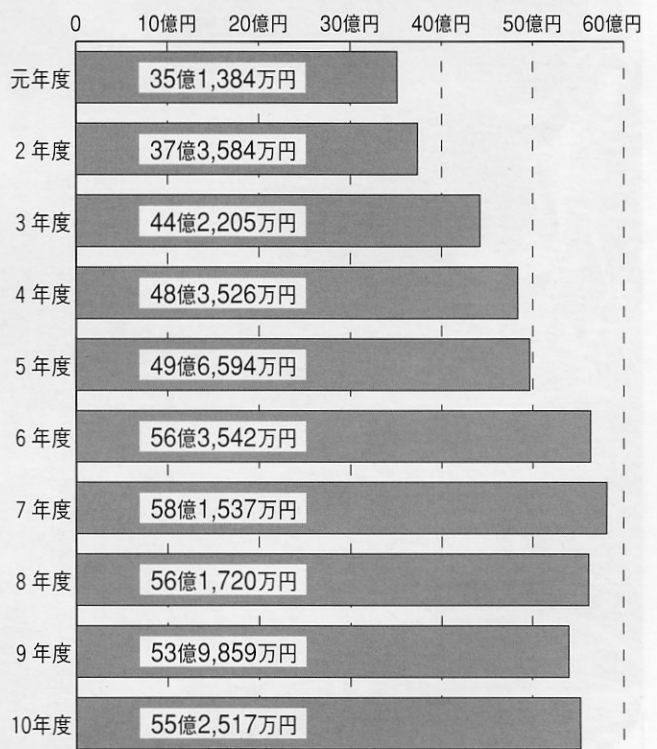


九月定例議会で平成十年度一般会計と特別会計の各決算が認定されました。
 一般会計の歳入が五六億四、三九七万七、三九八円（対前年度比一・四九%増）、歳出が五五億二、五一七万一、二三三円（対前年度比二・三四%増）とそれぞれ伸びを示し、翌年度に繰り越す財源が一、九三九万四、五〇〇円あり差引九、九四二万一、六七五円の黒字決算になりました。
 皆さんから頂いた税金や国からの地方交付税の使い道等のあらましをお知らせします。

過去5年間の町民1人当たりの税負担額



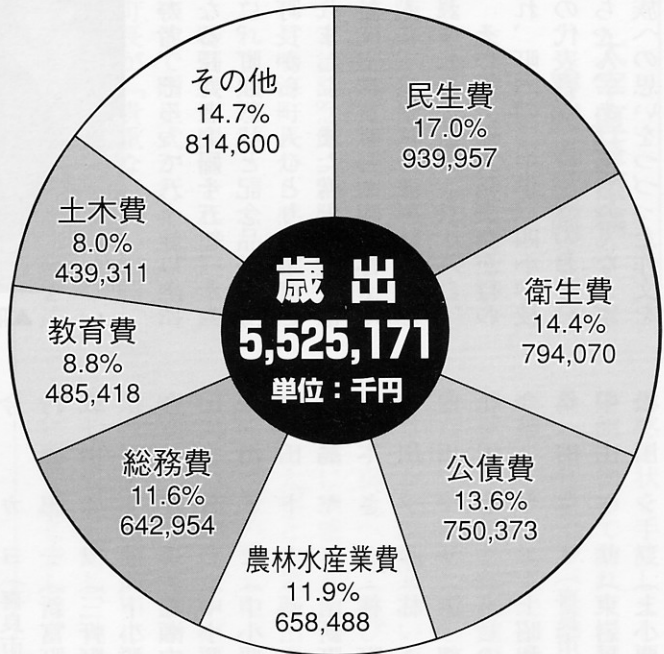
一般会計決算歳出の推移



主な歳出の内訳 (単位：千円)	
◆総務費・消防費	
広報かなぎ印刷費	6,635
行政情報電算処理費	11,723
交通安全対策費	8,916
納税貯蓄組合報奨金	14,196
地方バス路線維持補助金	7,355
常備消防費	293,372
◆民生費・衛生費	
町社会福祉協議会補助金	17,473
重度心身障害者医療費助成	20,998
身体障害者更生援護施設委託事務費	18,800
老人施設措置費	164,925
デイサービスセンター整備事業費	225,105
第1保育所費	80,317
第2保育所費	62,106
第3保育所費	59,148
第4保育所費	47,898
児童措置費	14,173
国民健康保険特別会計繰出金	110,220
総合検診等委託料	18,037
老人保健特別会計繰出金	67,040
西北五環境事務組合負担金	66,619
公立金木病院組合負担金	339,675
◆農林水産業費	
水田麦大豆等生産振興緊急対策事業費補助金	23,692
ふるさと農道緊急整備事業工事費	57,826
中山間地域総合整備事業負担金	32,419
団体営農道整備事業工事費	101,546
ふるさと林道緊急整備事業負担金	46,500
◆土木費	
除雪対策費	99,291
道路新設改良費	100,363
新ふるさとづくり町道整備事業費	29,607
住宅管理費	16,928
◆教育費	
金木小学校管理費	49,389
川倉小学校管理費	13,648
嘉瀬小学校管理費	29,524
喜良市小学校管理費	36,305
金木中学校管理費	38,671
金木南中学校管理費	37,622
嘉瀬小学校大規模改造費	46,509
公民館費	45,035
太宰治記念館管理運営費	27,737
◆その他	
さくらまつり助成金	3,191
夏まつり助成金	3,384
商工会助成金	4,000
イベント広場整備事業費	20,629
観光物産館建設事業費	165,457
災害復旧費	17,852
長期債償還元金	503,718
長期債償還利子	244,725

町 税 内 訳

	収入済額	収入未済額
町 民 税	262,863千円	7,151千円
固 定 資 産 税	329,182千円	57,032千円
軽 自 動 車 税	16,882千円	516千円
町 た ば こ 税	71,659千円	0千円
計	680,586千円	64,699千円



特 別 会 計

国民健康保険	歳 入	1,279,058,753円
	歳 出	1,193,961,603円
老人保健	歳 入	1,096,349,821円
	歳 出	1,120,091,339円
農業集落排水事業	歳 入	281,816円
	歳 出	280,592円
地域振興券交付事業	歳 入	72,300,000円
	歳 出	30,780,000円
水道事業	収益的収入	301,161,402円
	収益的支出	278,881,905円
	資本的収入	46,000,000円
	資本的支出	106,414,749円

平成11年度 金木町敬老大会 社会福祉大会



▲鳴海町長が受賞者一人ひとりに顕彰状を手渡し

平成十一年度の町敬老大会と社会福祉大会が九月四日、中央公民館で開かれ、関係者約六百人が出席し長寿者らに顕彰状を贈って長寿を祝いました。

式典で、鳴海町長は「今日まで町を支え、築いてくれたことに感謝します。今後も素晴らしい人生を送ってください」とあいさつ。続いて、九十歳以上の八十七名と今年八十五歳を迎える六十二名の長

寿者、そろって八十歳以上になる長寿者夫婦十五組三十人に、町顕彰状と記念品が鳴海町長から一人ひとりに手渡されました。また席上、社会福祉向上に貢献した四団体十八人に、感謝状や表彰状が贈られました。

その後、作文発表会が行われ、町内の二中学、四小学校の代表者が、日ごろのおじいちゃん、あばあちゃんなど家族への思いをつづった作文を

朗読し、会場のお年寄りの皆さんが笑顔で発表に聞き入っていました。

お昼には、町婦人会々員らが真心を込めて作った弁当に舌鼓を打ちながら、町芸能団によるアトラクションを楽しみました。当日の受賞者は次の方々です。

【県・町顕彰受賞者】

▼九十歳に達した長寿者

- 板谷ツマ(神明町)
- 原田リン子(藤枝)
- 沢田フミ(芦野団地)
- 岡田トシ(北本町)
- 夏坂徳藏(神明町)
- 今川カヨ(喜良市川端町)
- 村田忠一(新富町)
- 成田ミワ(三軒町)
- 松川ミ子(下小栗崎)
- 今平農(嘉瀬中派立)
- 山中きわ(中小栗崎)
- 松川イセ(中小栗崎)
- 吉田トセ(蒔田)
- 川島ヤエ(南新町)
- 藤本さや(林町)
- 白川ツサ(林下)
- 白川マサ(沢部)
- 花田きく(あしの園)
- 今川ヤエ(上昭和町)
- 桑田ヤサ(喜良市上派立)
- 中山ヤサ(東岩見町)
- 松川シワ(上小栗崎)

【町顕彰受賞者】

▼九十歳以上の長寿者

- 小山内晴夫(あしの園)
- 山中ヤサ(下鍛冶町)
- 秋元ヤヨ(あしの園)
- 高松ちる(あしの園)
- 田中ミキ(若松町)
- 三上長太郎(上小栗崎)
- 天坂イヨ(あしの園)
- 角田こと(小川町)
- 山形茂之進(栄町)
- 木村みせ(上古町)
- 工藤キヨ(上昭和町)
- 田中みせ(北新町)
- 小山内弥右衛門(あしの園)
- 小野タミ(あしの園)
- 相坂ハル(蒔田)
- 川口コト(蒔田)
- 夏坂ちな(米町)
- 山中シデ(車町)
- 山中富士男(上鍛冶町)
- 今きぬ(南本町)
- 算用子イサ(見崎町)
- 竹内ミサ(藤枝)
- 斎藤イヨ(上宇田野)
- 鈴木ヨソ(東町)
- 泉谷マン(下宇田野)
- 外崎三千男(畑中)
- 今チヨ(喜良市川端町)
- 川口キシ(新富町)
- 佐々木キセ(あしの園)
- 中谷シサ(上宇田野)
- 花田ソワ(上新町)

- 兼平きぬ(あしの園)
- 宮崎キナ(野崎)
- 成田ア子(藤枝)
- 秋元しる(林下)
- 原田トメ(若松町)
- 原田久治(小川町)
- 舛甚ヒテ(畑中)
- 松川松衛門(あしの園)
- 伊丸岡ちよ(東岩見町)
- 藤本ヲヨ(神原)
- 山中耕一(上古町)
- 笹木タマ(小川町)
- 原田シナ(下中柏木)
- 伊東イヨ(三軒町)
- 濱田マンコ(上昭和町)
- 佐藤トキ(三軒町)
- 中谷クニ(女坂)
- 澤田トシ(寺町)
- 伊丸岡浅五郎(喜良市上派立)
- 古川キエ(下柏木)
- 西村ツセ(林町)
- 小山内タヨ(下古町)
- 古川タヨ(喜良市川端町)
- 安田金作(上古町)
- 大川ツル(下中柏木)
- 桑田ミヨ(喜良市上派立)
- 棟方いよ(あしの園)
- 須崎キヨ(後町)
- 金三郎(中山道町)
- 徳田タキ(金木川端町)
- 仙場ハナ(米町)
- 中川キヨ(東岩見町)
- 大橋ちよ(米町)

わたしたちが 作文を発表しました

「私のおじいちゃん」



川倉小1年
泉谷 陽香さん

「ぼくらの学校とお年寄り」



喜良市小6年
秋谷 佳祐くん

「いつも元気でやさしい
おばあちゃん」



嘉瀬小4年
山中 智恵さん

「私のおじいちゃん
おばあちゃん」



金木小4年
横山しのぶさん

「大切なこと」



金木中3年
白川 亜沙美さん

「お母さんへ」



金木南中3年
田中 珠李さん

原田 ウチヨ (上中柏木)
▼八十五歳に達する長寿者
原田 藤四郎 (上中柏木)
田中 トミ (下中柏木)
中西 みつ江 (米町)
田中 ハツ (北新町)
田中 多橋 (蒔田)
白川 篤次郎 (向道)
瀬尾 トシ (旭ヶ丘)
中谷 平次郎 (上宇田野)
角田 さき (朝日町)
泉谷 信儀 (上宇田野)
今坂 よし (南本町)
夏坂 よし (神明町)
新岡 ナミ (更生部落)
木下 そめ (本町)
泉谷 五郎衛 (下宇田野)
湯本 さぬこ (本町)
工藤 君男 (下新町)
工藤 トキヨ (西岩見町)
佐藤 イト (上山道町)
竹内 ア子 (中山道町)
白川 シゲ (沢部)
鳴海 カネ (下古町)
山中 ハルエ (下鍛冶町)
中谷 金四郎 (上宇田野)
花田 ミエ (嘉瀬下派立)
大橋 ミセ (喜良市下派立)
三浦 キワ (上宇田野)
鎌田 孫右衛門 (下新町)
山中 ハル (車町)
田中 長右衛門 (林下)

桑田 さな (喜良市上派立)
小山内 まつ江 (南新町)
岡田 きわ (林町)
神島 哲雄 (畑中)
川口 さた (蒔田)
宮崎 キノ (新堤町)
中谷 ゆみ (上宇田野)
神谷 チヤ (更生部落)
桑田 清太 (喜良市上派立)
秋元 アネ (神原)
泉谷 トニ (林下)
中村 本真 (下柏木)
伊藤 フミエ (上柏木)
山中 伊三 (上新町)
山谷 ナツ (あしの園)
宮崎 初太郎 (野崎)
加藤 ユキ (上柏木)
野宮 正三 (栄町)
鈴木 ハナ (喜良市川端町)
藤元 キソ (喜良市下派立)
一戸 トヨ (浦町)
山中 サチエ (冷水)
岡田 タビ (蒔田)
今田 武太郎 (上柏木)
成田 さづ (更生部落)
佐々木 運作 (林町)
白川 たみ (林下)
葛西 信一 (野崎)
白川 ヤヨ (沢部)
宮崎 與太 (東岩見町)
佐藤 昇一 (三軒町)
徳田 キエ (蒔田)

▼八十歳に達する長寿者夫婦
今 平農 (嘉瀬中派立)
澤田 澤一 (上新町)
原田 金四郎 (上鍛冶町)
鳴海 芳雄 (嘉瀬下派立)
三上 長太郎 (上小栗崎)
今 武太郎 (上柏木町)
大橋 浅五郎 (西岩見町)
白川 篤次郎 (向道)
吉崎 長三郎 (新堤町)
中谷 平次郎 (上宇田野)
白川 文蔵 (向道)
山中 伊三 (上新町)
阿部 鐵雄 (昭和町)
田中 多橋 (蒔田)
秋谷 勇助 (中山道町)

敬老大会終了後お亡くなり
になった方々に対しましては、
心からご冥福を申し上げます。

稲刈り体験

嘉瀬小学校



▲カマで刈るのは大変
昔の人はスゴいなあ

カマの使い方について農協青年部から指導を受けた後、早速稲刈りに挑戦。自分たちが植えた稲の生長を喜びながら、一株ずついいねいに刈り取りました。

約三百kgの収穫があったもち米。子どもたちは「こまで成長するにはたくさんの人たちの苦労があったと思う。今は機械で作業ができるけれど、昔の人は大変だったということが分かった。十一月に行われるもちつき大会が楽しみです」と話していました。

嘉瀬小学校（校長 横濱盛昭）と毘沙門小学校（校長 竹浪桂子）の五年生による合同の稲刈りが十月八日、五所川原市の田んぼで行われました。

両校では五年生を対象に毎年、田植えと稲刈りの体験学習を実施しており、今年五月四十一日目にして、待ちに待った稲刈りを体験しました。軍手に長靴姿の児童らは、ケガをしないようにと正しい

秋の交通安全運動

推進メッセージ伝達式

秋の交通安全運動期間初日の九月二十一日、交通安全運動推進についてのメッセージの伝達が行われました。

前日に、県知事から渡されたメッセージを手に、葛西文昭金木地区安全協会会長を代表とする三名が役場庁舎を訪れ「安全で住み良い地域社会づくりのため、交通安全対策の推進をお願いします」とメ



▲メッセージを読み上げる葛西会長

ッセージを読み上げた後、鳴海町長へ手渡しました。鳴海町長らは「秋はわら焼きの煙や日没が早まるなど夕暮れ時の事故が発生しやすくなるため、より一層交通安全の呼び掛けに力を入れていきたい」と話し、事故防止運動を誓いあいました。

また、同月二十九日には中央公民館で交通安全教室が行われ、保育所の児童ら約八十人が交通事故の恐ろしさや交通ルールについて学びました。



太宰を学ぶ

町内小学校で学習教室

金木町太宰会（会長 木下 巽）による「太宰学習教室」が、一昨年の喜良市小と昨年の嘉瀬小に引き続き、今年も町内の各小学校で行われました。

この学習会は、同会が毎年発行している太宰小説作文集

「新樹」の作品募集にともない、太宰の生い立ちや太宰作品について、やさしく学べるようにと開催されているものです。六月十八日に「微笑誠心」の文学碑を中心とした学習が金木小学校で行われ、九月十四日に嘉瀬小学校、続く十五日に川倉小学校で開かれました。子どもたちは「走れメロス」「雀こ」などの作品世界に触れ、太宰作品の優しさを学んできました。特に「雀こ」の〈長え長えむがしこ、知らへがな…〉という津軽弁の語りには熱心に耳をかたむけ、太宰の生い立ちについても興味深げに聴き入っていました。

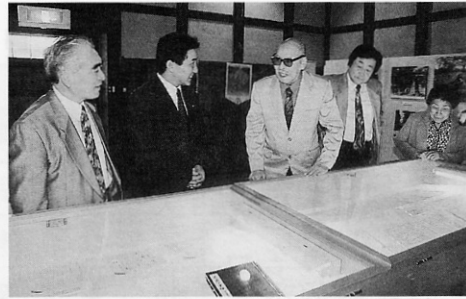


▲真剣な表情で学ぶ川倉小の児童たち

太宰を学ぶ活動はこの後、金木高校などでも開催される予定です。

感謝状贈呈式

太宰直筆原稿
寄贈者桜岡さんへ



▲寄贈した資料を見ながら談笑する
桜岡さんと鳴海町長

太宰治生誕九十年記念祭の最終日に当たる九月十八日、随筆「走ラヌ名馬」の直筆原稿を寄贈した桜岡孝治さんが太宰治記念館「斜陽館」を訪れ、鳴海町長から感謝状が贈られました。

特別展が開催されている蔵の前で贈呈式が行われ、鳴海町長が「貴重な資料の寄贈に感謝します。太宰も喜んでくれることでしょう」とお礼を述べ

べ感謝状を手渡ししました。斜陽館を初めて訪れた桜岡さんは「感無量です。太宰の直筆原稿をどうしようかと考え、やはり、金木の斜陽館がベストだと思い寄贈しました。太宰さんから原稿を頂いた当時は、下宿先へよく遊びに行つて一緒に酒盛りをしたもので」と太宰との思い出などを熱く語っていました。

大勢の太宰ファンが訪れた特別展。六月十九日から九月十八日までの期間中には約三万七千人が入館し、大盛況の内に幕を閉じました。

公的年金控除が適用されます。また、自動物価スライド制により年金の実質的価値が変わりません。

国民年金情報



日本人の平均寿命は伸び続け、世界一の座を保ち続けています。

人生八十年と言われる現代、長い老後を豊かに暮らすためには、国民年金などの公的年金が欠かせません。

若い世代の人は「年金」と聞いても自分のこととして考

国民年金制度

推進月間と

年金週間

えにくいかもしれません。

しかし「老後」は誰にでも必ず訪れます。また、病気や不慮の事故などで、いつ働けなくなるかわかりません。

そんなときに皆さんの生活を支えるのが国民年金です。

国民年金の保険料には社会保険料控除、受ける年金にも

県と市町村では、十一月を国民年金制度推進月間と定め、県民の皆さんに国民年金制度について一層の理解を深めていただくために、各種広報活動を行います。

また、月間のうち六日から十二日までを特に年金週間とし、公的年金制度全般の周知に務め、加入や保険料の納付を呼び掛けることにしています。

役場庁舎

自動ドアと新カウンター設置

みんなに
やさしく

役場庁舎正面玄関のドアと一階カウンターがこのほど新しくなり、大変利用しやすくなりました。

正面玄関には、身障者や高齢者の方が利用しやすいよう

にとの配慮から自動ドアが設置されました。

また、一階窓口（町民課、健康福祉課、税務課）のカウンターは以前、高さが約一メートルもあり、立ったままで申請書等の記入をしなければなりませんでしたが、新しく設置されたカウンターは、高さが二十五センチメートル低くなったのでイスに座ったまま記入ができるようになりました。カウンターが低くなったことで、対応がしやすくなり、行政に対する「高い壁」のイメージがなくなつたように感じられます。



▲ゆったりとなった窓口

役場を訪れた方たちは「足が不自由なので、とても助かります」「前よりゆったりとして広くなったような気がします。雰囲気も明るくなり、職員との対話も気軽にできるようになりました」と感想を話していました。

太宰をしのぶ⑬ 今、なぜ太宰か(3)

金木町太宰会々長
木下 巽

平成十一年六月三日、青森県立図書館長鈴木健二先生が金木町を訪問し、文化関係者と懇談。夜は太宰治記念館「斜陽館」において「朗読と講演」で感動を与えました。

その中で「太宰さんは、試験のなかった東京帝国大学フランス学科を選んで、無試験で大学に入ったのです」と、話されたことを参会の方は記憶にあると思います。このことが、ずっと気になっていましたので、今回は太宰治東京帝大入試について調べてみました。

太宰治年譜研究者

「太宰治年譜」研究での第一人者は、前神戸女学院学長・現神戸海星女子学院大学教授山内祥史先生です。山内先生は『太宰治年譜考』（昭三八）『太宰治年譜の虚実』（昭四四）などで年譜考証をしたことが発端になり「伝記的事項上での疑問点が多く、これを正していかなければならないと思った」と書いています。その後三十数年、あらゆる太宰治に関する著書を調査研究し、検証を積み重ねてきています。そして、第十次筑摩書房版『太宰治全集』を編纂、その

最終巻『太宰治全集別巻』（平四・四）に「太宰治年譜」を詳細に記載しています。これについての異論は見当たりません。この「太宰治年譜」に「東京帝大文学部仏蘭西文学科に入学者選抜試験はあった」と、明確に記述されています。私は、その

「裏づけ資料」を確かめたく先生に直接手紙を差し出し、ご指導をお願いしたところ、八月二十七日付けで丁寧なご返事を頂戴しました。

山内先生書簡

へ太宰治の東京帝国大学入試については、花田俊典氏が詳しく考証しておられましたので、その複写を同封ご送付申しあげます。その他、平岡敏男氏の『太宰治と旧友たち』や、同じ試験場で受験した中村地平氏の『失踪』や当時の『帝國大學新聞』の記事などを参考にして拙稿「年譜」を書きました。東京帝国大学入試に関しては今のところ『太宰治全集別巻』所掲の「年譜」の記述でいいように考えています。というご教導があり、各種裏づけ資料も同封されてきました。

昭和五年度帝大試験

太宰さんが受験した昭和五年度は、東京帝大文学部全体の志願者が四百四十七名で四十七名超過したので全学科に「普通試験」と「特別試験」が課せられています。太宰さんは、昭和五年三月四日以後に、金木の生家に帰って東京帝国大学文学部仏



▲山内祥史氏より提供の裏づけ資料

蘭西文学科の入学者選抜試験を受けるために上京、「本郷區森川町の下宿屋に宿を取った」ということです。

東京帝国大学文学部の入学者選考試験は、三月十三日に国語（十時～十二時）と漢文（一時～三時）、三月十四日に外国語（英、独、仏の一つを選ぶ）（十時～十

二時）と身体検査（一時～三月十五日に特別試験（十時～十二時）と身体検査（一時～）が実施されました。試験問題集も送付されています。

特別試験

特別試験は、一般試験に対して各志望学科で実施するやや専門的な試験で、各科の意向によって決定されたということです。この年の仏蘭西文学科では「佛文和譯」と「佛蘭西語作文」の「好奇心」が出题されています。この特別試験の試験場で「僕にはフランス語はできません。英語の答案を出しておきますが、試験は合格して下さい。」と監督者について、受験生たちが騒々しい喚声をあげたということです。同じ弘前高校出身の仏蘭西文学科受験者の三戸幹夫も、手を挙げて同様の事情を訴えたということです。監督をしていた助教授辰野隆氏は、困惑して、嘆願書を書くように勧めた、と伝えられています。

試験の結果

昭和五年三月二十三日、東京帝国大学文学部入学者氏名発表。入学を許可された者四百七名です。「帝國大學新聞」（第三三三三号）に「佛文の特別試験の際佛語がすこしもわからず青くなつて嘆願書を書いた連中も首尾よく合格してゐる」とあります。

以上のことから、昭和五年度は、形式的にも実質的にも仏蘭西文学科が「無試験」だったということはあり得ないということです。ちなみに昭和四年度は、文学部志望者数三百七十四名のため、五学科をのぞく残り十四学科が無試験だったそうです。

正しい理解を

青森市S氏は「知られざる太宰：六五」に「いま太宰治略年譜が出てくるがあまりにも誤りと問題点が多すぎる。年譜に基づいて、裏を確かめようとすれば、みんな裏がとれる。しかし実際には大部分、確かめることなく、他人の資料によって書かれている部分が多いように思われる。」と、年譜作成上の問題点を指摘しています。

もとより私も太宰治研究では浅学非才の身、試行錯誤の繰り返しです。しかし太宰会の目的に賛同する二百十一名の会員、共に学び合う「太宰を知る会」の常連メンバー、献身的な三役事務局と編集委員スタッフ、そして諸研究家の指導助言が会の研究活動を支え、謙虚に学び合っています。

「今、なぜ太宰か」のなかに、郷土の誇り太宰治の「人と作品」を正しく理解するため、謙虚に学び、批評し合う姿勢が基本になると思っています。

大腸がんのお話

内科 小野 ふさ子

こんにちは。ほぼ一年ぶりの私からのカルテです。昨年の秋には、便秘のお話をいたしました。またまたしつこく今回も便に関係の深い、大腸がんのちよつと恐いおはなしです。

①大腸ってどんなところ？

人間は口からおしりの穴まで一本の管が続いています。口から飲み込まれた食べ物、食道から胃にはいり、小腸でいろいろな消化液で消化され、栄養部分が吸収されます。残りが大腸に送られ、通過するうちにその中の水分が吸収されて便として肛門から体外に出されます（その水分の残り具合で便が硬かったり軟らかかったりするわけですね）。大腸の内面にはひだがたくさんあり、きちんとたたまると、せいぜい七〇〜八〇cm位伸ばすと二m位にもなります。②大腸がんは増えています！以前は日本人に多いのは胃

がん、欧米人に多いのは大腸がん、と言われていましたが、最近では日本人の大腸がんが増えて、その割合が欧米に迫りつつあります。

私が金木病院に来て一年たちますが、大腸がんの患者さんは、決して少なくない印象を持っています。

③原因は？

遺伝子異常についても明らかにされてきていますが、欧米型の高蛋白、高脂肪、低繊維食が重要な原因としてあげられます。

④症状は？

―便秘、出血に注意！

早いうちは、まったく症状無しに進行していきます。がんが大きくなると、がんからの出血による症状（便に血が混じる、ふいた紙に血が着くなど）や腸が狭くなつて便が通りにくくなることによる便秘、腹痛等、ひどいときには腸閉塞を起こして病院にかつ

ぎ込まれる人もいます。もちろん、貧血、やせなどの症状もでてきます。ただの便秘、痔からの出血だと思つて放つておいて病気が進行してしまつた方に、何人もお目にかかつてことがあります。

⑤予防と早期発見！

日本食がいま見直されています。線維が多く、脂肪、蛋白質がアメリカなどでもブームになったりしています。バランスのとれた規則正しい食事、排便を心がけましょう。

また、検診の検便検査は必ず受けましょう。これは、虫の検査ではなく、腸内の目に見えない出血をチェックしているのです。そして、異常があつたり心配なときは早めに腸の検査を受けましょう。

⑥腸の検査って苦しいの？

カメラで見る検査と、バリウムという白い薬を入れて写真を撮る検査を組み合わせて行います。大腸の長さ走り方は本当に人それぞれで、すんなりいく人もいれば少し（かなり？）時間がかかる人もいます。でも、大事な検査です。私たちはできるだけ患者さんへの負担を少なくして、

正確な診断をつけるために、ベストをつくしています。そしてもしも病気が発見されたときには、その方にとって最善の治療に力をつくします。「大腸の検査は苦しいんだつてよ」という誰かのほなしをまともに受けて、異常があるのに検査を受けるのを一日延ばしにしている方がいらつし

やるとしたら大変残念です。⑦心配するよりは病院へどうぞ！以上、大腸がんについて少しおどかし気味にはなしをすすめてきました。余計な心配をされる必要はありませんが、気になったり、異常を感じたりしたときは、どうぞ、気軽に当院においでください。

HAPPY Wedding

このたび、めでたく「かなぎ公民館ブライダル」（企画・進行＝事務局「金木町中央公民館」）によりカップルとなられた方々をご紹介します。



1999. 9.19
新郎 平川 清人さん（柏村）
新婦 白川 千晴さん（金木）

1999. 9.25
新郎 黒川 正義さん（嘉瀬）
新婦 太田あけみさん（五所川原市）

★結婚をご予定されている方は、お気軽に金木町中央公民館にご相談ください。すべて事務局が手配いたします。（☎53-3581）
また、お二人のお名前と結婚記念日を刺しゅうした豪華桐箱入アルバムの特典品等々たくさんの特典があります。

♥かなぎ公民館
ブライダル情報♥

戸籍

の窓

九月届出分

おめでとう

山中 香(良仁) 嘉瀬
野宮 陽(浩司) 金木
榊引 也(富治) 金木
山中 和(雅喜) 嘉瀬
鳴海 一(武樹) 嘉瀬
沢田 希(盛市) 金木

今大(俊光) 金木
白川 三(秀敏) 蒔田

おしあわせに

山田 義之(悦義) 中里町
白川 知美(武則) 金木
秋元 允(忠) 五所川原市
濱田 優子(俊藏) 嘉瀬
岩淵 敦(富雄) 五所川原市
竹内 琴恵(義博) 金木
平川 清人(登) 柏村
白川 千晴(源三郎) 金木
片岡 進(徒雄) 五所川原市
間山 みどり(恵美子) 金木
鈴木 禎(和夫) 金木
松田 美砂(均) 金木

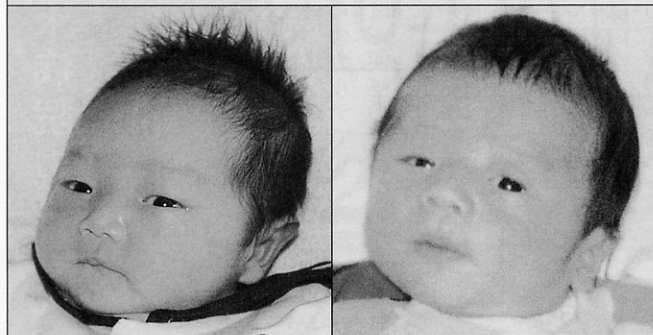
おくやみ

長内 由男(62才) 喜良市
沢田 洋二郎(82才) 金木
藤元 千代右工門(78才) 金木
古川 角規(83才) 喜良市
坂田 リエ(77才) 喜良市
白川 くによ(83才) 金木
板谷 ツマ(90才) 金木
田中 ハツ(85才) 金木
花田 きゑ(88才) 嘉瀬

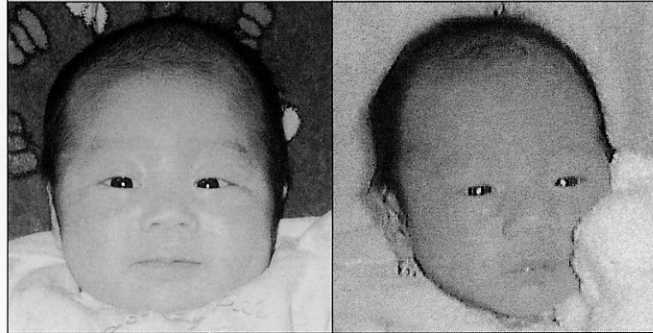
伝言板

◎届いています
●九月五日 川倉宇田野
茶色のがまぐち
●九月五日 金木沢部
赤いカサ
●九月二十日
金木北新町・妙乗寺前
青い財布
心当たりの方は、金木警察署落し物係まで。
◎係から
このコーナーを利用したい方は役場企画観光課まで。

はじめまして



と登 陽
ひる大 陽
大きく、たくましく、育てほしい (両親より)
明るい元気な子になってほしい (両親より)



や也 耶
たつ達 和
健康で思いやりのある子供に育てほしい(母 美貴子より)
男らしく、カッコイイ、誰にでも好かれるような子になってね(母 静より)



いち希
た一 希
健康で素直な優しい子に育てね (両親より)
早く一緒にお風呂に入って遊ぼう～ね (父 盛市より)



東北電力五所川原営業所とユアテック五所川原営業所よりこのほど、街路灯二基が寄贈され、角田助役に目録が手渡されました。
健康福祉課では近々、寄贈された街路灯を設置することになっています。

あなたの善意
ありがとうございました

人口と世帯	9月末現在	前年同月比
男	5,821人	△ 37人
女	6,366人	△ 73人
計	12,187人	△ 113人
世帯数	3,948	11